

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年9月13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870700192		
法人名	株式会社 ユニマツトそよ風		
事業所名	結城ケアセンターそよ風	ユニット名	ばらユニット
所在地	〒307-0001 茨城県結城市結城923-1		
自己評価作成日	平成24年3月20日	評価結果 市町村受理日	平成24年9月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0870700192&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年5月16日	評価確定日	平成24年9月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者様お一人おひとりの『自分らしく』を大切に受け止め、やりたい事・できる事などが生かされた生活が送れるよう個々の自立支援に努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者や職員は利用者の意志を尊重し、利用者が生き生きと生活ができるように支援している。
事業所は地域の人々とのふれあいを大切に考え、様々なボランティアを受け入れるなどで利用者が地域の一員として積極的に交流が図れるように取り組んでいる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループホーム独自の理念を掲げ、毎朝の申し送り時間に管理者を含む職員は理念の唱和に取り組み、意識を高めている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し事務所に掲示するとともに、職員は朝礼時に理念を唱和して共有を図っている。管理者は職員と話し合って理念の実践に努めており、地域の人々とのふれあいを大切に利用者が安全で生き生きと生活ができるよう支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入。回覧板にて地域の情報を収集、またグループホームの情報誌を交付し地域住民の方々を納涼祭に招待したり、祇園祭には神輿の休憩所として、駐車場を開放するなど地域の一員として取り組んでいる。	定期的に読み聞かせのボランティアが来訪したり、歌や踊り、そば打ちなど様々なボランティアが来訪しているほか、近隣の保育園児が来訪したり、中学生の福祉体験を受け入れるなど、利用者が地域の人々と交流ができるよう支援している。 近隣住民が花を届けてくれたり、散歩時に地域住民と挨拶や会話を交わすなど、日常的に地域の人々と交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	『認知症地域サポート相談窓口』を設置し、地域に配信。また、センター1階ホールを開放し介護保険についての講座を地域住民の方々対象に実施している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者メンバーの皆様から率直な意見・助言を頂き、ご利用者様の生活の支援に活かすよう努めている。	運営推進会議は市職員や自治会役員で2ヶ月に1回開催し、事業所の運営に関して話し合っている。 運営推進会議には毎回決まった委員が出席しており、多くの委員の参加を得るまでには至っていない。	運営推進会議でより多様な意見が得られるよう、家族等の代表者や民生委員など、参加者が増えるよう工夫することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者に直接訪問し確認する内容や気軽に電話にて相談・助言を頂く等、連携は図れている。また、『結城市地域密着型サービス事業所連絡会』に加盟し市内状況の把握に努め協力体制を整えている。	空き情報について市担当者と連絡を取り合っている。 生活保護受給の利用者については市担当者が半年に1回事業所を訪問するので、その時に情報交換を行っている。 認知症相談窓口を設置しており、認知症高齢者への正しい理解や対応について、相談者へ適切な説明ができるよう市担当者から助言を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	『身体拘束対策委員会』において、定期的な会議・研修会の実施により全職員が周知徹底を図り身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。なお、一部のドア施錠については、ご家族様の希望、了承を得て実施しております。	身体拘束対策委員会を定期的開催して身体拘束にあたる具体的行為やその弊害について職員の理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 帰宅願望の強い利用者の不穏時には、職員は見守りに徹するケアに努めている。 玄関は不審者侵入防止のため、利用者や家族等の承諾を得て施錠している。	玄関を施錠せず利用者が自由な暮らしができるように、全職員で定期的に話し合うことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	『虐待防止対策委員会』において、定期的な会議・研修会の実施により全職員へ周知を図り未然に防ぐ努力をしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護について、勉強会の機会を持ち理解を深めるよう努めているが、知識に不十分な面も一部あると考えられる。現在、ご利用者様の必要性は無いものの内部・外部の研修も含め知識拡大に努めたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時・退去時において契約書・重要事項・預り金規程・個人情報・自己評価・その他の書類について様々な内容を理解されるまで十分な説明を実施し手続きをしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常的に意見を頂ける関係は確立しているがグループホーム玄関に設置する無記名アンケートにより率直なご意見が頂ける様『ご意見箱』を用意し取り組んでいる。	玄関に意見箱を設置している。 職員は家族等の来訪時に聞き取った意見や要望を申し送りノートに記入し、情報の共有を図っている。 年1回家族アンケートを実施しているが、出た質問に回答したり、意見等を検討して運営に反映させるまでには至っていない。	家族アンケートで出た意見や要望を検討し、運営に反映させるとともに結果を事業所便りなどで家族等に報告することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回、定例会議を実施し充分な話し合いの場を設けている。また、会議以外においても気軽に意見・相談できる時間・関係を築いている。	職員会議を月1回開催し、出た意見や提案を運営に反映させている。 管理者は会議以外でも職員がいつでも意見や提案が出せるよう職員との良好な関係づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日常的に個人の状況を把握し、定期的な面談を通して意識の確認・個人が抱える課題・人的関係性・モチベーションの確認・その他様々な内容において傾聴し相談出来るよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部・外部研修インフォメーションの情報を提供し参加を促している。また、外部より講師を招き勉強会を開催するなど人材育成に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	『結城市地域密着型サービス連絡協議会』に加盟し他事業所との情報交換・共有に努めているが、『介護職員交換研修』の意見・提案をさせて頂いた経緯もあることなどから、今後、積極的に取り組んで参ります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	担当の介護支援専門員より情報を収集し、また在宅サービスにおける状況や様子なども含め入居に伴う事前調査時にご本人の思いや希望・願いに傾聴し不信感を抱かれ無いよう取り組んでおります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時、ご家族に対し受容的態度で要望や不安の理解に努め、ご家族と共にご本人を支える支援を説明させて頂き、関係性を深める努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様・ご家族様にとって最善の方法は『何か』を一緒に考え情報を提供し最優先すべき支援を提案させて頂いております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩であり、時には職員が親子のように、また孫や嫁・息子・友人であるかのように関係性は多様に变化し、演じながら自然な形で暮らしを支え過ごしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月『ご利用者様月間報告書』を送付し1ヶ月のご様子を記載すると共に些細なことでも連絡・相談をすることで家族と共に支える意識が高められるよう取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前にご利用されていた美容・理容店の継続利用や知人・友人がいつでも訪れていただけるよう面会時間を定めず来所して頂いたり馴染みの商店での買い物等、個人の思いに応えるよう努めている。	入居前に利用していた馴染みの理・美容院の継続利用を家族等の協力を得て支援している。 利用者が馴染みの商店で買い物ができるよう職員が付き添っている。 利用者の友人が事業所を訪ねて来ており、都合の良い時に面会に来てもらえるよう面会時間は定めず、関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の人的関係性は充分把握しており、職員の介入や座席への配慮・個人の希望等、孤独と捉える事がないよう十分に注意し、支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時、ご本人様の現状報告をスムーズにし、別のサービスに移行できるように努め、その後のご本人様の経過等についても確認できるように関係を保つよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の考えや思いに傾聴し把握に努め応じるよう努力している。また、意志を伝える事が困難な方に対し日々の表情や仕草、そして行動など確認しながら支援に取り組んでいる。	職員は利用者との日々の会話の中から一人ひとりの思いや暮らしに対する意向を把握し、申し送りノートを活用して共有している。 意志疎通が困難な利用者に対しては、普段からの表情やしぐさ、態度を観察して利用者の思いの把握に努め、利用者本位に支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前調査により、ご本人様の情報収集を行ない、バックグラウンドを重視する支援を心掛けるよう取り組んでおります。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のご様子・個人の記録内容・その他、行動や活動また変化など見逃すことが無いよう個々の有する力の把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・家族の意見・要望を伺ったうえで会議を開催し職員の視点や考え等も含め（モニタリングは3ヶ月に1回実施）それぞれの思いが込められた介護計画書作成に取り組んでいる。	介護計画は利用者や家族等の要望を聞き1年を基本に作成するとともに、3ヶ月毎にモニタリングを行っている。 利用者の心身の状態に変化が見られた場合は随時モニタリングを実施し、介護計画を見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画書に沿った記録を行ない、また記録申し送りノート内容などから新たな視点・発見などもあり介護計画書作成に反映されている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設事業所においてカルチャー教室を開催していることもあり、希望により『フラワーアレンジメント教室』『ハンドメイド教室』『ペーパークラフト教室』に参加。他、数々の慰問ボランティアイベントを楽しまれている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	災害時において自治会や地域住民の応援・協力体制を書面契約にて締結し、また地域の広報誌により参加可能な季節の行事を収集し、積極的に暮らしに取り入れ楽しむ機会を意図的に設けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	馴染みの関係と信頼・安心あるかかりつけ医との継続的医療は可能な限り実践している。やも得ず、ご家族様の希望により他、医療機関を希望される場合などは情報を提供し十分に納得いただけるよう努めている。	利用者は家族等の付き添いで入居前のかかりつけ医を受診しており、職員が作成したバイタルサインなどの日々の記録を家族等に渡している。 状態の変化による臨時の受診に際しては、職員が作成した状態についての報告書を家族等を介してかかりつけ医に渡し、適切な医療が受けられるよう支援をしている。 家族等の依頼で職員が受診に付き添った場合は、結果を電話で家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	職員体制において、現在、看護師配置が不可能な為、5月1日より訪問者護STとの医療連携体制を結ぶ予定である。また、これまで併設事業所の看護師が相談に応じていただいていた経緯もあり協力体制を整えるよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は定期的に様子を伺い、その都度、病棟看護師または担当看護師に病状の確認・本人様の状況また退院の見込み等、情報収集に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	5月1日より訪問者護STとの医療連携体制を整備するため準備を薦めている。今後、出来る事を見極め、ご家族様の要望を確認しつつ終末期ケアに向けた取り組みを医療関係者と共に実現したいと考える。	「重度化した場合の対応・看取り対応に関する指針」を作成し、利用者や家族等に説明して書面で同意を得ている。 今後は週1回訪問看護師が来訪し、利用者一人ひとりの健康状態を観察してデータを作成することとなっており、利用者の重度化に向けた体制づくりの準備を始めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルの整備・定期的な勉強会など知識習得に備えている。が、職員個々の能力・経験の格差等がうかがえる。事例検討会議などを通して実践への備えに努めたい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の緊急電話対応・消火器の設置場所と使用方法・避難通路及び自治会各代表者への応援要請・職員全員が習得するまで繰り返し訓練実施に取り組んでいる。	夜間想定避難訓練を含め消防署立会の避難訓練を年2回実施するとともに、避難訓練に近隣住民の参加を得ている。 訓練終了後には防災訓練報告書を作成し訓練内容を記録するとともに、反省点や課題を検討して記録に残している。 自治会と協定を結び、災害時における協力体制を構築している。 災害時の備えとして缶詰やレトルト食品、飲料水、毛布等を備蓄している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個性を尊重し一人ひとりに合った言葉の表現言葉住いに留意するよう配慮している。また、会議において、確認をし尊厳が保たれるよう『振り返り』に努めている。	利用者の人権に配慮した言葉遣いに努めている。 職員会議で職員の言葉遣いを含め接遇について振り返り確認をしている。 職員は排泄や入浴時には利用者一人ひとりに応じた言葉かけを行い、利用者の意志や人格を尊重したケアに努めている。 個人情報に関する書類は事務所の鍵のかかる書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常的な関わりの中で言葉や行動から思いが導き出せるよう働きかけると共に、自己表現が出来る関係性や環境づくりに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の時間の流れに考慮しながらも、ご利用者様のペースを大切にし、ご本人の希望に出来る限り添えるよう取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の好みの衣類購入や理容店・美容室への個別対応や化粧品の購入等、一人ひとりのこだわりや嗜好を大切に支援に取り組んでいる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	日々、料理の取り分け・配膳・配茶・食器のふき取りや後片付け、また食材の購入等、参加できること・したい事が習慣化されているまた、おやつ作りや即席付け・お正月料理の準備など食べる楽しみ・作る楽しみに努めている。	昼食は2種類のメニューから選択できる。調理員が併設する通所介護事業所と同じ献立の食事を作り、盛り付けはユニット毎で行っている。 利用者はできる範囲でテーブル拭きや盛り付け、配膳、下膳、食器洗いなどを行っている。 おやつ作りをしたり正月には出前の寿司を取るほか、外食の機会を設けるなど、月1回は食事を楽しめる企画を実施している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量の記録にとどめ健康管理に努めている。また、食事・水分の提供方法を工夫し一人ひとりに応じた取り組みを実施している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施して頂いている。ご自身での口腔ケアが困難な方に対しては介助にて清潔を保ち、洗浄剤の使用や外出時の嗽なども含めて実践している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な限りお手洗いで排泄を促すため、排泄チェック表の記録確認や排泄状況を把握し個別誘導・声掛けにて支援に取り組んでいる	利用者毎の排泄記録表を作成し、職員は排泄リズムを把握するとともに適切にトイレに誘導し、排泄の自立に向けた支援を行っている。 利用者は原則パンツで生活し、一部の人が夜間のみパッドを使用している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘を予防する為、牛乳・ヤクルト等乳製品を多く摂取していただけるよう心掛け、また運動レクリエーションを取り入れ身体を動かして薬剤に頼らないよう努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日、入浴をして頂ける支援体制を整えており気の合う仲間同士、または沐浴剤を使用して様々な色・香を楽しまれている。また、個々のタイミングに合わせ自由な時間に入浴できる支援に努めております。	毎日の入浴を基本に利用者の希望を優先して入浴支援をしている。 入浴を嫌がる利用者には無理強いせず、利用者のタイミングに合わせて入浴支援をしている。 日常的に様々な色や香りの沐浴剤を使用し、入浴が楽しめるよう支援をしている。 柚子湯や菖蒲湯で季節が感じられるように入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の個々の身体状況やご希望に応じて午睡や静養の時間を確保し、夜間の良眠へと導けるよう日中の活動量にも配慮した支援に取り組んでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様の既往症・現病から薬剤情報の把握に努め常時、観察を怠らないよう努めております。内服薬の増量・新薬の投与・バイタルの変化等、ご家族・主治医との連携に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各、個人個人の趣味（編み物・生け花・習字・他）や得意分野（漬物作り等）を把握し負担の無い範囲での役割ごとへの挑戦など身近な喜びやできる楽しさを味わう支援に取り組んでいる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	各個人の希望、必要性に応じて散歩や買い物など日常的に活動をしている。また、季節を楽しむ機会などを設け遠方までの外出やファミリーレストランでの食事など職員側からの働きかけで取り組んでいる。	天候に合わせて事業所周辺を散歩したり、利用者が買い物に出かけられるよう支援をしている。 初詣に始まりショッピングセンターでの買い物や外食、筑波山へのドライブなど、毎月内容を変え利用者が楽しみとなるよう外出の機会を設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金を自己管理する利用者様そして現金使用希望時の同行等、必要な時に自由に希望に応じるよう取り組んでいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて電話をかけられたりまた、一緒に年賀状を書かれたり、お孫さんからのお便りなど『絆』を大切にしたい支援に努めている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の手作りの作品や生け花・置物を飾り、また匂いや汚れ等清潔に留意し利用者様が快適に過ごす事ができるよう取り組んでいる。	食堂や居間は天井からの照明で柔らかい明かりとなっている。 居間の中央に一段高い畳のスペースがあり、炬燵を置いたりソファを配置し、利用者が好きな時間に思い思いに寛げるよう配慮している。 居間に花を飾り季節感を取り入れたり、壁には利用者の貼り絵の作品を飾っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや畳コーナーの設置により一人ひとりが思い思いの好み場所で過ごせるような空間づくりに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様に自宅で使用されていた物また愛用品等を持参していただけるよう説明させていただいている。個人の思いや好みを大切にしたいと考えるため、入居後も継続的にご家族様に伝えるよう努めている。	居室はエアコンや押入れ、タンスが備え付けられている。 畳の部屋を希望する利用者には畳を敷くなどの対応をしている。 テレビ等の電化製品を含め居室への持ち込みは自由となっており、利用者は使い慣れた家具や家族の写真、位牌を持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家具や電化製品の配置に工夫し、整理整頓を心掛け、危険が無い住環境を提供しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目標達成計画

事業所名 結城ケアセンターそよ風

作成日 平成24年9月11日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	5	一部施設による制限が、利用者様の行動・心理に及ぼす影響が課題である。	個人の自由を尊重する支援を実践することができる。	・個人の意思を損ねる事のないよう思いを理解し活動・行動を共にして参ります。また、定例会議においても議題の頻度を高めて参ります。	12ヶ月
2	6	ご家族様からの意見・要望を明確にし運営に反映することが課題である。	意見を反映しホーム運営や利用者様の生活の質を高めることができる。	・家族会等を通して意見の収集に取り組んで参ります。また、それについての情報や結果を書面にて報告させていただきます。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。